

たかねまちづくり協議会事業評価シート

担 当 部 会 名	競技会									
1 事業の位置付け (P l a n)										
事 業 名	集落活性化支援事業					事業 番号		個別 番号		
まちづくり計画書の 基 本 方 針	☐ (1) 地域資源調査を行い、その結果を情報発信する。 ☐ (2) 地域の人々が相互の交流と理解を深めるための場や歌をつくる。 ☐ (3) 美化活動を推進し、美しい自然や景観を守る。 ☐ (4) 地域防災の仕組みを具体化させる。 ☐ (5) 支え合いを大切にして、みんなが元気で安心して暮らせる仕組みをつくる。 ☐ (6) 農業振興を図り、若者の定住に繋がる取り組みを行う。							取組みの方向性や 実施する事業		
計 画 年 度 ※	H24		H25		H26		H27		H28	
実 施 年 度 ●	※	●	※	●	※	●	※	●	※	●

2 事業の実施 (D o)							
事業の内容	概 要	集落が行う伝統行事等に助成金を交付する。上限50,000円、2事業まで。					
	対 象						
	事 業 期 間						
	成 果 指 標	なし					
	成 果	集落の活性化と伝統行事の継承に寄与できた。					
	課 題	要項で決められているルールが、運用で甘くなっている。					
経費及び指標	項 目	H24	H25	H26	H27	H28(見込)	合計
	経 費 (千 円)	356	343	295	295	328	1,617
	会 議 回 数	5	2	2	2	2	13
	会 議 人 数	50	15	14	15	10	105
	集 落 数	8	8	7	7	7	-
	事 業 数	15	15	12	12	9	63
	全体アンケート					●	
	結 果	よかった・ふつう77 / 知らなかった41 / よくなかった4					

3 事業の視点別評価 (Check)		
達成度	成果の達成度 ☒達成度はかなり高い ☐達成度はやや高い ☐達成度は低い (上記選択の理由) この助成金により集落行事を行うことができています。	
	実施の必要性 ☒必要性が高い ☐必要性が今後高まっていく ☐必要性が低い、ない (上記選択の理由) 集落行事ができなくなり、集落コミュニティが維持できなくなるため、必要性が高い。	
必要性	まち協が関与する妥当性 ☒関与すべき ☐集落で実施すべき ☐団体等で実施すべき (上記選択の理由) 財源として、まち協交付金しかない。	
	対象・手段の妥当性 ☐妥当 ☒改善の余地あり (上記選択の理由) 要項改正によりもっと使いやすい制度にする。	
効率性	事業費の削減余地 ☐削減の余地あり ☒削減の余地はない (上記選択の理由) 集落に、ほかの財源がないため、削減余地はない。	
	人員の削減余地 ☐削減の余地あり ☒削減の余地はない (上記選択の理由) 現在は三役により審査・決定しているため、人員の削減余地はない。	
	成果の向上余地 ☒余地あり ☐余地がある程度ある ☐余地はほとんどない (上記選択の理由) 集落の、助成金の使い方によっては大きな成果をあげることができる。(大学生を招致するなど。)	

4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価結果	今後の改革の方向性 ☐現状継続 ☒見直しのうえで継続 ⇒ 今後の方向性： ☒拡大 ☐他の事業と統合 ☐縮小 ☐休止 ☐廃止(発展的解消含む、実施取りやめを含む)
	(上記方向付けの理由) 様々な用途に使える制度として要項改正を検討していく。
	(改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画) 使う側(集落や団体)への活用推進のための説明会の開催、イベント支援・活性化支援などの部門を設け、きめ細かな支援を行っていく。